

Le Semeur

〔ルスメール〕＝種をまく人

【教育相談】の種をまく人でありたい/子ども
の心に【愛の種】をまきたい/自分の心
に【ゆとりの種】をまきたい

日本学校教育相談学会山梨県支部 会報

発行 2021年度 No.1 7月24日

発行者 山梨県支部事務局

発行所 北杜市長坂町中丸4333-16

メール kyouikusoudan.y@gmail.com

コロナ禍だからこそ継続した支援を～令和3年度総会および第1回研修会について～

1 総会の様子～コロナ禍でも支援を止めてはいけない～

令和3年度6月26日（土）リバース和戸にて今年度総会と第1回研修会が行われました。6月20日まで緊急事態宣言が出ていた状況でしたが、昨年度は紙面開催だった総会も今年度は約9名の会員の参加によって会場にて実施されました。

コロナ禍であっても、コロナ禍だからこそ、子どもたちへの相談支援は止めるわけにはいきません。実際学校現場は感染に十分注意しながら、行事等は縮小がなされながらも、授業等はほぼ通常通り行われており、教育相談活動も提供されていかなければならない状況です。

本学会本支部の研修会も生きた研修として感染対策を講じながら有意義なものにしていく必要が総会で確認されました。

2 第1回研修会の様子

総会のあと14時より16時40分まで今年度の1回目の研修会が13名の参加者を得て行われました。会員以外に現場教員、SSWの方、医療関係者などの参加がありました。

最近、心理臨床や精神医学でオープンダイアログという家族療法起源の対話を重視する方法が注目をされ、学校での児童生徒との対話的相談実践に重要なヒントを与えてくる可能性があります。山梨英和大学にはその分野のご専門の田代順先生がいらっしゃるので講師としてお招きしました。

研修会テーマ 学校臨床とナラティブアプローチ

講師 田代順先生（山梨英和大学教授 公認心理師 臨床心理士 精神保健福祉士）

内容 前半の講義の概要：ナラティブとは物語であり言葉である。言葉とはとても重要なものである。規範とは物語（ナラティブ）であり生き方である。「不登校」という言葉がない時代には不登校問題はなかった。昔も発達障害児はいたが、規範＝物語によって子どもたちの行動は整えられ顕在化しなかった。言葉の心への浸透力は大きい。心の問題は、社会的文化的文脈の影響が強い。トラウマとは言語化されていない経験で、それを言語化することで治まる。感情コントロールも言語によってなされる、などなど印象深いお話がありました。

後半の概要：リフレクティングという技法で事例検討を行った。事例提供者とコンサルタント（田代講師）が事例について1対1で面接（コンサルテーション）している様子を、それ以外の参加者が、黙って聴いたあと、今度は参加者たちがその事例について感想や意見を言い合うのを事例提供者が黙って聴いているというもの（最後に感想はシェアしました）。それぞれの立場が議論しないので内的対話を深めることができるというもの。このようにリフレクティングとは、家族療法で、マジックミラー越しに行われていた家族の対話と支援者たちの観察をオープンにしたらかえて対話が促進されケースの改善がみられたということから生み出された技法です。

（文責 佐野）

2 研修会参加者の感想

- 改めて言葉で伝えることの大切さに気づくことができました。「人間は物語で生きている」という言葉に感心しました。
- 心の問題は社会文化の影響によるもので、対話の続行から治療の糸口がつかめるものであり、人間は言葉で感覚を仕分けしていることがわかりました。
- 多く行われているカウンセリングとは異なる視点からのアプローチで興味深く拝聴した。実践には経験が必要であると感じた。
- むずかしい言葉もありましたが、初めに丁寧に説明していただき、ありがたかったです。
- 後半の部分でのissue提供者による「自例検討会」によってリフレクティングの内容について理解することができました。「解決」ではなく「解消」など改めてセラピーのとらえ方について学ぶことができました。
- リフレクティングの技法を初めて知り、久々の研修会参加で浦島太郎気分です。言葉での対話、言語化する、ということの大切さを改めて感じました。
- 言語化が感情を整えるということを身をもって体験させていただきました。子どもたちとの日々の対話を大切に、1つ1つの感情を言語化できるよう関わっていきたいと思いました。
- 言語化すること、リフレクティングの大切さがわかりました。最初はナラティブアプローチとかオープンダイアログとか、かたかなばかりでわからなかったのですが、わかりやすいお話で興味を持ってました。
- 言語化することについて考えを深めることができました。実際に事例検討を行ったことでリフレクティングについて実践的に学ぶことができました。
- 問題も願いも解決のヒントも、すべて言葉の中にある、ということを確認することができました。
- 「言葉が整うから心が整う」ということを実感できる内容でした。試したくなりました。
- 「これは使える」と思いました。

令和3年度第2回研修会のお知らせ

日時 7月31日(土) 14:00~16:30 場所 小瀬スポーツ公園武道館会議室1

テーマ 「学級経営に生かす教育相談の理論と方法」

講師 内藤 雅人氏 公認心理師 ガイダンスカウンセラー

※感染防止のため、マスク着用をお願いいたします。

※また、上履きの持参をよろしく申し上げます。

* 事例を募集します。

形式は問いません。事前に資料が送れる方は下のアドレスに連絡ください。

資料は当日持ち込みでもかまいません。事例を出して頂ける方は連絡ください。